

大ファン・ゴッホ展（仮題）第1回実行委員会 次第

日時 令和6年5月13日（月）16時～16時20分

場所 県庁本庁舎5階 正庁

1 開 会

2 あいさつ

3 出席者紹介

4 議 事

大ファン・ゴッホ展（仮題）概要（案）について

5 閉 会

記念撮影

令和6年5月13日

大ファン・ゴッホ展（仮題）実行委員会

大ファン・ゴッホ展（仮題）概要

1 開催意義

- (1) 県誕生150周年、東日本大震災及び原発事故から15年の節目となる2026年と、その翌年の2027年に、福島県立美術館において、ファン・ゴッホ作品のコレクションで世界的に有名なクレラー・ミュラー美術館（オランダ）所蔵のファン・ゴッホ作品を中心とする展覧会を2回にわたり開催します。
- (2) 本展覧会は、ファン・ゴッホの代表作品に直接接触れることにより、県民に感動や元気を届け、前に進む原動力につなげるとともに、次世代を担う子どもたちの豊かな心を育みます。
- (3) また、「復興の地ふくしま」の実現に向けて挑戦を続ける本県の姿と魅力を国内外に広く発信し、交流人口の拡大につなげます。
- (4) さらに、福島県立医科大学の発案により、世界的な名画を用いた臨床応用として、「アートセラピー」のさらなる発展を目指します。

2 会期

- 第1回展覧会 2026年（令和8年）2月21日（土）～5月10日（日）
第2回展覧会 2027年（令和9年）6月19日（土）～9月26日（日）

3 会場

福島県立美術館（福島市森合字西養山1番地）

4 主催

大ファン・ゴッホ展（仮題）実行委員会

【構成機関】

福島県、福島県教育委員会、福島県立美術館、公立大学法人福島県立医科大学、福島市、福島民報社、NHK 福島放送局、福島テレビ、福島中央テレビ、福島放送、テレビユー福島、ラジオ福島、ふくしま FM

5 監修

クレラー・ミュラー美術館 ベンノ・テンペル館長

6 展示内容

(1) 第1回展覧会

クレラー・ミュラー美術館を代表する名画「夜のカフェテラス」をメインとして、ファン・ゴッホがブラバント地方からアルルに移り住むまでの作品を展示します。

【展示作品】約70点（ファン・ゴッホの作品58点を予定）

- ・自画像／1887／油彩
- ・夜のカフェテラス／1888／油彩 など

(2) 第2回展覧会

オランダの国宝とも称され、かつて日本の美術教科書にもファン・ゴッホの代表作品として掲載されていた名画「アルルの跳ね橋」をメインとして、アルルからサン・レミ、オーヴェールに至るまでの作品を展示します。

【展示作品】約70点（ファン・ゴッホの作品48点を予定）

- ・アルルの跳ね橋（ラングロワ橋）／1888／油彩
- ・夜のプロバンスの田舎道／1890／油彩 など

7 展覧会に関連する主な取組

- (1) 子どもたちの鑑賞機会の充実（観覧料金の無料化等）
- (2) 多彩な広報、関連イベントの展開
- (3) 地域、観光等との連携（美術館周辺地域の賑わい創出、アートツーリズム、デスティネーションキャンペーンとの連携等）